

宇都宮市立富士見小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○ほぼ全ての質問で、回答の肯定割合が県の平均を上回っている。

【家庭での学習】について

○「家で、自分で計画を立てて勉強している」について、肯定割合は81.3%で、県の平均を10.9ポイント上回っている。「家で、学校の授業の予習をしている」の肯定割合は61.7%で県の平均を5.7ポイント上回り、「家で、学校の授業の復習をしている」の肯定割合は72%で県の平均を8.7ポイント上回るなど、授業内容の理解や習熟を意識しながら、家庭学習に取り組むことができる児童が多いことが分かる。また、「平日、1日当たりの家庭学習の時間」についても、宇都宮市が目安としている40分を上回る「1時間以上」と回答している児童が50.4%おり、県の平均よりも7ポイント高い。今後も質、量とも充実した家庭学習に児童が取り組めるよう、家庭と協力しながら、指導・支援を継続していきたい。

【学校での様子】について

○「毎日の生活がじゅう実していると感じている」の肯定割合は、98.2%で県の平均を12.8ポイント上回っている。「学校のきまりを守っている」については、76.6%の児童が肯定的回答(「はい」・「どちらかといえば、はい」)の中でも「はい」と答えており、これも県の平均よりも13.3ポイント高い。また、「自分はクラスの人役に立っていると思う」の肯定割合は、79.5%で県の平均を14.1%上回っている。居がいのある学年・学級集団の中で充実した生活を送りながら、規範意識や自己有用感が育っている児童が多いことが分かる。今後も児童がこうした思いをもって生活していくことを通して、心の成長に繋げていくことができるよう、学年・学級経営を充実させていきたい。

【家での生活】について

○「早ね、早起きを心がけている」の肯定割合は、89.7%で県の平均を13.8%上回っている。他の基本的な生活習慣についても、回答結果は良好で、家庭において適切な生活習慣を身に付けている児童が多いことが分かる。

●「平日、1日当たりのテレビや動画の視聴時間」については、4時間以上と回答した児童が18.7%おり、「平日、1日当たりのテレビゲームの時間」が2時間以上と回答している児童も27.2%いる。ただらと視聴しないようにするために、家庭でルールを決めたり、かわりに読書をしたりするなどの対応ができるとよい。また、学校でも放課後のよりよい過ごし方について、継続的に啓発を行っていきたい。

【自分自身のこと】について

○「自分には、よいところがあると思う」の肯定割合は、93.4%で県の平均を12.7ポイント上回っている。また、「むずかしいことでも、失敗をおそれないでちよう戦している」の肯定割合は、86.9%で県の平均を9.7%上回るなど、学級集団での良好な人間関係を通して、自分のよさに気付き、もう一歩頑張ってみようという意欲をもつことができる児童が多いことが分かる。今後も自他を大切にできる児童の育成を目指して、日々の教育活動の充実を図りたい。